

ズバリ聞きます！

12月議会・5人が一般質問



蒲池 恭一議員

どうなる日本の農業！ 和水町の農業！

問 TPP（環太平洋経済連携協定）に参加すれば、町の基幹産業である農業、農家などのように影響があると思われるか伺う。

答（町長） 和水町の農業に関しては大変な打撃を受けることは勿論である。しかしながら日本の国益等を考えると、今後こうした議論が深まり、ゆくゆくは、危惧いたすわけで、しっかりとした和水町ならではの農業振興、これを議員の皆さん方と一体となり、取り組んでいきたいと思っている。

問 TPP交渉に参加すれば、我が町の農業は壊滅的な状態になる。今議会において、議会でも反対をする決意（平成22年12月16日付けでTPP交渉参加に反対する意見書、内閣総理大臣を始め衆参議員議長、関係閣僚へ提出）です、執行部においても、反対ということでは

強い決意を持っていただきたい。

問 今年は今まで以上にイノシシによる農産物の被害が深刻になっている。今日までの町としての対策、又、今後の対策について伺う。

答（事業課長） イノシシによる農産物の被害の増大は、全国的なものであり、異常気象の環境の変化に誘引することが大きいと考えられる。

これまで、農業振興補助金による電気柵設置費用の30%の補助、箱わな等の制作及び購入に対して20%の補助で対策し、自己防衛捕獲を推進するために、わな免許の取得者に対して箱わなセットを無償で貸し出しを行った。又、6月議会で補正をした鳥獣被害対策防止事業（28、147千円、内自己負担金4.5%）により、対策を行った箇所の被害は削減できたものと考えるが、逆に、取り残された箇所被害が増大した部分もあるのではないかと推測している。平成23年度は緊急的な野生鳥獣被害防止の取り組みとして、鳥獣被害緊急総合対策事業（県の事業で105件の申請が上がっている）の要望を行う。

問 農家においては深刻な状

態であるので、必ず予算（鳥獣被害緊急総合対策事業）を取っていただくように、町長自ら率先していただきたい。



西吉地遠野地区に設置されたイノシシ対策用『フェンス』

高校卒業の年齢までの医療費の無料化を！

問 本町では中学生までの医療費の無料化を実施されているが、経済不況による所得の減少、定住促進等の観点からも、高校生までの無料化を実施してはと思うが伺う。

答（町長） 今日、社会経済、金融危機の中にあり、大変冷え込んでいる状況で、経済的負担の軽減、そして、早期発見、早期治療へつないでいきたいと考えるもので、医療費の無料化ということは、一律に金銭を配るものでなく、病

合において、安心、安全を得るもので、今後、町民の方々が支え合う気持ち、そして、協調の精神を築き上げるものであると考えるので、新年度から早速検討して取り組んでいきたい。

人口増加をめざす！

問 人口の減少を歯止め、又は人口増加を目指すためには、分譲地の販売、町営住宅建設は早急にしなければならぬ案件だと思う。今後の計画等を伺う。

答（町長） 現在、平成27年度の開校に向けて、小中学校統廃合事業を進めており、この事業により、学校跡地、跡施設が生じるので、定住対策を含め、十分検討して進めていく。

問 分譲地を販売するに当たり、地元（和水町）の業者に家を建てていただく場合、坪単価を安くする等の配慮をして頂きたいと思うが伺う。

答（町長） そういう事業を展開するに当たり、地産地消的な考えの中で、何らかの町としての支援を考える必要があると受け止めている。

他、学校給食費の無料化、減額等について質問した。